

Libro de Biblioteca

リブロ デ ビブリオテカ

第 141 号 図書館だより

2018 年 12 月 12 日

関東学院六浦

中学校・高等学校図書館

放課後イベントのお知らせ

誰でも
参加 OK♪

近頃だんだんと寒くなってきましたが、そんな冬でも図書館は暖かくて快適です。心地よい空気感の中でひっそりと本を読むのもいいですが、この冬は放課後の図書館のスペシャルなイベントに参加してみませんか？いつもと一味違う図書館のイベントを楽しみましょう！！

第 1 回 図書館読書会



いつものビブリオバトルとは違う！

もっとラフで気楽な読書トークをみんなでしましょう！

開催日時：12 月 13 日（木） 放課後 16:15 集合(図書館)

持ち物：好きな本 2～3 冊（1 冊からでも OK！）・飲み物可（食べ物は NG！）

テーマ：「本について、自由に語り合おう」

初めての開催なので、なんの縛りも無し！

小説・漫画・新書・雑誌限らず好きな本を持ってきてください！

謹賀新年！百人一首大会

新年始まってまずは百人一首！

学年をこえてみんなでワイワイ、楽しみましょう！！

開催日時：1 月 3 週目(のうち 1 日) 放課後 16:15 集合(図書館)

※日程が決まったら、1 月に図書館廊下に掲示します！



授業で学んでいる真っ最中の 1 年生から、百人一首懐かしい！というような高校生までぜひ参加を！！

持ち物は要りません！

貸出拡大キャンペーン実施中

いつもは 3 冊までの貸出ですが！この期間はみなさんぜひ借りに来てください！

1 人 7 冊まで

返却期限は、1 月 9 日(水)まで！ 始業式の次の日です。お早めに！

展示ブースのお知らせ

図書委員の広報班による新しい展示ブースができます！

場所は自習席の並びのところで、10・11番の本棚付近の柱の前のところです！

特集は現在製作中ですが「冬休みにぜひ読んでいただきたい本たち」の特集を企画しております。その名の通り冬休み向けの長編小説やファンタジー、また冬の文化に関係した本や、個人的な委員たちのおすすめも展示しております。ぜひご覧ください！

冬の開館スケジュール

12月



月	火	水	木	金	土	日
10 8:50～17:30	11 8:50～17:30	12 8:50～17:30	13 読書会開催 8:50～16:15	14 8:50～17:30	15 閉館	16 閉館
17 6時限授業 8:50～13:00	18 自宅学習日 閉館	19 自宅学習日 閉館	20 自宅学習日 閉館	21 終業式 9:00～15:00	22 9:00～15:00	23 祝日
24 祝日振替	25 9:00～15:00	26 閉館	27 閉館	28 閉館	29	30

グレーのところは閉館日です。1月8日（火）の始業式から図書館が開きます。

廃棄本のお知らせ

図書館カウンターに廃棄本が沢山あります。

欲しい方は差し上げます。今回は、英検や語彙読解力検定のテキストもあります！



差し上げられるのは、
終業式の日の15時までです。

お急ぎください！

冬のオススメ本

今回は、冬のオススメ本を紹介したいと思います！

1冊目 「クリスマス・キャロル」です。

この本は世界的に有名なディケンズさんが書いた本です。クリスマスキャロルなのに亡霊が出てきて背筋が凍るようですが、最後はハッピーエンドで終わるので、とてもいい本です。



2冊目は 「ミッケ！クリスマス」です。

クリスマスの写真の中にくまやサンタが隠れていてそれを探すという本です。とてもきれいな本でオススメです！借りなくてもぜひ図書館にきて、見てみてください！



各学年の授業に合わせた展示をしています



1年生国語&LHR ビブリオバトル



4年生 LHR 論文作成

491 才。実はまだ生きていた。 ～図書委員の自作小説～

時は昔、1572 年東都に本能寺があった。そこには 1 人の男がたまに訪れていた。
その男の名前は織田信長であった。そこで悲劇は起こった。そこで悲劇を起こした犯人は、明智光秀であった。

ここからは、悲劇が起こる前の経緯である。明智光秀は織田信長に仕える大名である。
明智光秀は織田信長に度々嫌な事をされたのである。例えば、ある戦に勝った日、祝いの酒を飲んだ時の話。
明智は、「作戦を考えた甲斐があったな」と言った。しかし織田信長は、戦に勝ったのは自分の作戦のおかげだと思っているため自分の考えと違う明智を殴り、屋敷の廊下を引きずり回したのだ。
織田信長の嫌がらせに耐えきれなくなった明智光秀はとうとう、織田信長を倒そうとしたのである。
そして 1582 年のとある日に、明智光秀は本能寺の変を起こしたのである。
ちょうどその時、織田信長は本能寺で僅か少数の護衛と本能寺に居た。織田信長は明智光秀に毛利を倒すように命令をしていたのである。だか、明智光秀は毛利を倒しに行かず、部下に「敵は本能寺にあり！」と叫び、進路を変え、織田信長を倒しに行ったのである。そして当然装備が全然足りなかった織田信長は、明智光秀に負け、家臣の明智光秀の裏切りだと知った。織田信長は、寺に火を付けて自害した。
その時、部下の木下藤吉郎（後の豊臣秀吉）は毛利氏と戦っており、もう一人の部下の徳川家康は、織田信長の勧めで堺（今の大阪）に見物に行っていた。
織田信長が死んだとの情報を聞いた部下の木下藤吉郎（後の豊臣秀吉）と徳川家康は大変悲しんだ。
そして部下の木下藤吉郎（後の豊臣秀吉）はすぐさま、毛利氏との戦いをやめ、本能寺のある京都に向かった。
そして戦いで見事、明智光秀を破った。木下藤吉郎（後の豊臣秀吉）は明智光秀から刀を奪い取った。
だが、明智光秀が、奪い取られた物は刀だけでなく明らかに武器だった。
そしてとうとう、明智光秀の手元には線香しか残らなかった。その後、明智光秀は名前を変え、豊臣秀吉や、江戸幕府の将軍に仕え、暮らした。

それから 200～300 年が経ち、明治時代が来た。
日清戦争や日露戦争、第二次世界大戦も乗り越え、140 年の時が過ぎ、時は平成。
あの明智光秀の名前は**明荒乱師(みょうこうらんすい)**になった。
ある日その**明荒乱師(みょうこうらんすい)**は、とある一件の家に火を放った。
その家はちょうど町田くんの家だった。最初の頃、町田一家は自分の家に火が放たれている事を知らなかった。
だが、しばらく時が経ち、放たれた火はだんだん大きくなり遂に大火事になった。町田一家は、ようやく火事に気づき避難した。その後、家を消火しようとしたが、手遅れだった。そう、なんと町田一家の家が燃えつきたのだった。
そしてしばらくの間町田一家はホームレスになった。おしまい。

ぜひ、次回のストーリーも読んでください♪

編集後記

見つけたら教えてください！

「深夜廻」という本が
紛失しています。
見かけた方は、
図書館カウンターまで
届けてくださいますよう
お願いします。



- ・お知らせを 2 つ書かせていただきました！楽しかったです！
これから、楽しい記事を書いていこうと思います。 4 年だより班
- ・自作小説を書きました。今回の物語の舞台は室町時代～現代(平成)です。 3 年だより班
- ・私は去年もだより記事を書いていましたが、なかなか慣れず、うまくできたかわかりませんが、読んでくれると嬉しいです。よろしくお願いします。 2 年だより班
- ・廃棄本もらってください！ 2 年だより班
- ・貸出キャンペーンの記事を書きました。みなさんぜひ借りてください。 1 年だより班
- ・開館スケジュールのコーナーを担当しました。図書館へ急ぎましょう！ 1 年だより班